



マレーシア・タパー高校生とオンラインで英語の交流授業を行います。

白馬高校では、例年海外、特にアジア諸国から多くの高校生を迎えて国際交流を実践しています。今年度もコロナ禍にあっても、生の国際交流を生徒に体験させたいとの思いから、昨年来校された、マレーシアのタパー高校の先生から申し出があったオンラインによる交流を、本校の複数の英語授業を通じて行うことになりました。

日時

令和2年11月26日(木) 午前11時55分から午後14時15分まで

会場

白馬高等学校(北安曇郡白馬村北城8800)

11時55分～12時45分 普通教室棟 2階 2B、2C教室、3階 3B、3C教室

13時25分～14時15分 普通教室棟 2階 1B、2C教室、3階 3B、3C教室

交流先学校名 Sekolah Menengah Sains Tapah (タパー高校)

交流参加生徒 タパー校の約40名(17歳)、

本校国際観光科1～3年全員と普通科3年の英会話選択者計約120名

交流内容

本校の通常の英語の授業時間帯である、4限目の3年2講座と2年2講座、5限目の3年2講座と1年2講座を利用して、4つの教室で、タパー高校の4つのグループと、それぞれ次のテーマで対話をします。

1. それぞれの学校について
2. 一日の学校生活
3. 町の特徴
4. 学校で勉強する科目について
5. コロナの影響でどんな生活をしているか 等

その他

コロナのため現在タパー高校は休校になっていますので、タパー高校の生徒・先生は各自宅からzoomによるリモート授業に参加します。当日、通信環境等によりハプニングがあるかもしれません。

取材に来ていただける場合は、事前に担当までご連絡ください。

長野県白馬高等学校

中平聖子(英語科教諭・本事業担当)

電話:(0261)72-2034 FAX:71-1016

E-mail:hakuba-hs@pref.nagano.lg.jp